

3 協働事業実施状況（平成25年度）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
1	国際交流に係る市民の参加促進 (市民自治推進課)	例年実施 (平成20年度から継続実施) ○外国人とのふれあいを通じて国際理解を深め、草の根による国際交流を推進する。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 ○国際交流サロンを通じた各種事業（通年） 【参加人数、関係団体等】 ホームステイ受入ボランティア登録者数（48人） ボランティアによるホームステイの受入実績（9家庭） ホストファミリーのための英会話教室参加者（10人） 外国人のための日本語教室参加者（15人） 【反響等】 国際交流サロンの事業を通じ、市民には本市に来訪者があった際のホストファミリーとして、在住外国人にはイベントなどで市民の国際理解を深めるための協力を得ている。
2	第2回まちゼミ (まちづくり推進課)	例年実施 (平成24年度から継続実施) ○まちゼミ事業を通し、市民にまちなかの商店街関係者同士のコミュニケーションの場を創造し、商店街活性化の機運を高めることを目的とする。	【実施年月日、参加人数等】 平成25年10月5日～平成25年11月6日（90人） 【関係団体等】 一般市民・商店街関係者等 【反響等】 参加者からは、新たなお店を知るきっかけとなったり、無料で素晴らしい講座を受けることができて良かったという声が聞かれた。
3	災害時要援護者避難支援プラン (危機管理室)	例年実施 (平成19年度から継続実施) ○大規模災害時に自力では避難が困難な要援護者からの申出により事前に自主防災組織等支援者へ情報提供し、万が一災害が生じた場合に円滑に避難できるようにする。 。	【実施事業、実施年月日、参加人数、事業内容等】 ○災害時要援護者避難支援プランについての説明会 平成25年5月29日 本庁9階会議室（18人） 【関係団体等】 旭町町内会、あやめ町内会、音羽町町内会、光洋町町内会、汐見町町内会、第7区親交会、高砂町町内会、沼ノ端拓勇西町内会、日吉町町内会、美光町内会、美山町西町内会 合計11団体 【反響等】 要援護者の災害時の不安が解消された。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等															
4	地区別津波避難計画の作成 (危機管理室)	<p>例年実施 (平成24年度から継続実施)</p> <p>○津波浸水が予測される区域内の住民が津波被害から命を守るため、地区住民一人ひとりが意識を高め、お互いに助け合い、津波が到達するまでに安全な場所へ迅速に避難することを目的に「地区別津波避難計画」を作成する。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数、関係団体等】</p> <p>○地域別津波避難計画の作成</p> <table border="0"> <tr> <td>東開町内会 平成25年 9月19日 (29人) 平成25年10月24日 (23人) 平成25年12月19日 (32人)</td> <td>元中野町内会 平成25年10月 2日 (17人)</td> <td>末広町内会 平成25年10月10日 (21人) 平成25年12月10日 (17人)</td> </tr> <tr> <td>旭町町内会 平成25年 7月30日 (39人) 平成25年12月20日 (30人)</td> <td>栄町町内会 平成25年 9月 2日 (42人) 平成25年12月 2日 (12人)</td> <td>高砂町・大町寿町内会 平成25年 8月31日 (51人) 平成25年11月16日 (37人)</td> </tr> <tr> <td>本町・幸町町内会 平成25年 8月29日 (23人) 平成26年 1月 7日 (19人) 平成26年 1月21日 (29人)</td> <td>第7区親交会・矢代町町内会 平成25年 9月10日 (37人) 平成26年 1月21日 (29人)</td> <td>弥生連合町内会 平成25年10月25日 (67人) 平成25年12月17日 (60人)</td> </tr> <tr> <td>西町親交会・大成町公住町内会 平成25年10月29日 (42人) 平成26年 1月29日 (51人) 平成26年 2月 5日 (15人)</td> <td>光洋町・あやめ町内会 平成25年 8月 7日 (38人) 平成25年10月28日 (4人) 平成25年11月15日 (22人)</td> <td>糸井南・糸井西町町内会 平成25年 9月26日 (54人) 平成25年11月 6日 (38人)</td> </tr> <tr> <td>日吉町町内会 平成25年 7月29日 (44人) 平成25年10月15日 (7人) 平成25年11月26日 (31人)</td> <td>錦西町内会 平成25年10月19日 (86人) 平成25年11月12日 (15人)</td> <td>合計32回 延べ1,061人</td> </tr> </table>	東開町内会 平成25年 9月19日 (29人) 平成25年10月24日 (23人) 平成25年12月19日 (32人)	元中野町内会 平成25年10月 2日 (17人)	末広町内会 平成25年10月10日 (21人) 平成25年12月10日 (17人)	旭町町内会 平成25年 7月30日 (39人) 平成25年12月20日 (30人)	栄町町内会 平成25年 9月 2日 (42人) 平成25年12月 2日 (12人)	高砂町・大町寿町内会 平成25年 8月31日 (51人) 平成25年11月16日 (37人)	本町・幸町町内会 平成25年 8月29日 (23人) 平成26年 1月 7日 (19人) 平成26年 1月21日 (29人)	第7区親交会・矢代町町内会 平成25年 9月10日 (37人) 平成26年 1月21日 (29人)	弥生連合町内会 平成25年10月25日 (67人) 平成25年12月17日 (60人)	西町親交会・大成町公住町内会 平成25年10月29日 (42人) 平成26年 1月29日 (51人) 平成26年 2月 5日 (15人)	光洋町・あやめ町内会 平成25年 8月 7日 (38人) 平成25年10月28日 (4人) 平成25年11月15日 (22人)	糸井南・糸井西町町内会 平成25年 9月26日 (54人) 平成25年11月 6日 (38人)	日吉町町内会 平成25年 7月29日 (44人) 平成25年10月15日 (7人) 平成25年11月26日 (31人)	錦西町内会 平成25年10月19日 (86人) 平成25年11月12日 (15人)	合計32回 延べ1,061人
東開町内会 平成25年 9月19日 (29人) 平成25年10月24日 (23人) 平成25年12月19日 (32人)	元中野町内会 平成25年10月 2日 (17人)	末広町内会 平成25年10月10日 (21人) 平成25年12月10日 (17人)																
旭町町内会 平成25年 7月30日 (39人) 平成25年12月20日 (30人)	栄町町内会 平成25年 9月 2日 (42人) 平成25年12月 2日 (12人)	高砂町・大町寿町内会 平成25年 8月31日 (51人) 平成25年11月16日 (37人)																
本町・幸町町内会 平成25年 8月29日 (23人) 平成26年 1月 7日 (19人) 平成26年 1月21日 (29人)	第7区親交会・矢代町町内会 平成25年 9月10日 (37人) 平成26年 1月21日 (29人)	弥生連合町内会 平成25年10月25日 (67人) 平成25年12月17日 (60人)																
西町親交会・大成町公住町内会 平成25年10月29日 (42人) 平成26年 1月29日 (51人) 平成26年 2月 5日 (15人)	光洋町・あやめ町内会 平成25年 8月 7日 (38人) 平成25年10月28日 (4人) 平成25年11月15日 (22人)	糸井南・糸井西町町内会 平成25年 9月26日 (54人) 平成25年11月 6日 (38人)																
日吉町町内会 平成25年 7月29日 (44人) 平成25年10月15日 (7人) 平成25年11月26日 (31人)	錦西町内会 平成25年10月19日 (86人) 平成25年11月12日 (15人)	合計32回 延べ1,061人																
5	「消費者月間」街頭啓発 (安全安心生活課)	<p>例年実施</p> <p>○消費者被害防止の情報提供と市消費者センターの活用について街頭啓発により、消費者被害防止に対する意識の向上を図る。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】</p> <p>啓発資材(情報提供のチラシと絆創膏 1,000部)の配布 (平成25年5月8日)</p> <p>【参加人数、関係団体等】</p> <p>苫小牧消費者協会 外2団体(14人)の協力</p> <p>【反響等】</p> <p>消費者被害防止に対する意識の向上が図られた。</p>															

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
6	みんなの消費生活展 (安全安心生活課)	<p>例年実施 (昭和54年度から継続実施)</p> <p>○暮らしに役立つ知識や情報を提供し、消費者意識の高揚を図る。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成25年11月9日・10日</p> <p>【参加人数、関係団体等】 来場者数 2日間 (495人) 苫小牧消費者協会 外16団体 (約120人) ・ステージ参加を含む民間出展8団体 約80人 ・消費生活展併設の「福祉・消費者ふれあい市場」出店10団体 約40人</p> <p>【反響等】 出展した消費者団体等の取組を通じて、消費者意識の高揚が図られた。</p>
7	女性の人権講演会 (男女平等参画課)	<p>例年実施 (平成18年度から継続実施)</p> <p>○DV被害者支援活動を行っているNPO法人ウィメンズ結と協働企画し、講演会を実施。DV被害者の実情や被害者に及ぼす影響等を学びDV防止の認識や必要な支援の提供について理解を深める。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、参加人数等】 平成26年2月15日 (110人)</p> <p>【関係団体等】 NPO法人ウィメンズ結との共催事業</p> <p>【反響等】 具体的な事例紹介によりDVの現状が把握できた。女性に対する暴力が貧困と密接に結びついていることが理解できた。DV被害者は女性と子どもの人生を奪う。講師等の貴重な意見が聴けてDV防止の認識を深めることができた。</p>
8	女性に対する暴力をなくす運動の啓発事業 (男女平等参画課)	<p>例年実施 (平成24年度から継続実施)</p> <p>○女性に対する暴力防止の啓発</p>	<p>【実施事業、実施年月日、参加人数、事業内容等】 平成25年8月1日～平成26年3月31日 協力団体人数 約20人 配布物等 (パープルリボン200個、リーフレット3,000枚)</p> <p>【関係団体等】 苫小牧市クローバーの会、NPO法人ウィメンズ結</p> <p>【反響等】 啓発用のリーフレットを公共施設などの女性用トイレ36ヵ所に備え付け、女性に対する暴力をなくす運動の啓発活動を実施。苫小牧市クローバーの会員がリーフレットの補充を担当し、施設などの職員の理解と協力を得ることができた。 また、多くの市民に暴力が絶対にあってはならないことや被害にあっている方にも関心を持って頂く目的を十分に果たすことができた。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
9	苦小牧市男女平等参画宣言都市記念式典 (男女平等参画課)	<p>単年度（新規）実施</p> <p>○本市における男女平等参画社会の実現に向けては、市民意識の一層の高揚と気運を広く醸成することが必要であり、市民・地域・事業所・行政が一体となり協働して、内閣府、苦小牧市、苦小牧男女平等参画宣言都市記念事業実行委員会の共催で男女平等参画宣言都市記念式典及びその関連事業を実施する。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、参加人数等】 平成25年11月17日（約1,000人）</p> <p>【関係団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会メンバー（9人）苦小牧男女平等参画推進協議会会長、苦小牧青年会議所副理事長、苦小牧市町内会連合会会長、NPO法人ウィメンズ結代表、苦小牧市小学校長会（会計）、苦小牧市中学校長会（事務局長）、王子製紙(株)苦小牧工場事務部調査役、北海道電力(株)苦小牧支店企画総務グループ、公募委員 ・その他関係団体 苦小牧市男女平等参画審議会、苦小牧市民合唱団、フルートアンサンブルアマビレ、苦小牧男女平等参画推進協議会、苦小牧市婦人団体連絡協議会、NPO法人ウィメンズ結、NPO法人チャイルドサポートこあら、苦小牧市クローバーの会、NPO法人認定こども園幼稚園あいか、苦小牧市立苦小牧東小学校、苦小牧市緑陵中学校、学校法人苦小牧学園苦小牧高等商業学校、苦小牧市老人クラブ、その他市民ボランティア等 <p>【反響等】 市民全体で盛り上げようとする気運が感じられた。これから社会を担う人達に男女平等参画社会について認識する機会になり、男女平等参画の意味、必要性がとても良くわかった。都市宣言を群読することにより、認識が深まった。</p>
10	苦小牧市資源リサイクル団体連絡協議会 (減量対策課)	<p>例年実施 (平成5年度から継続実施)</p> <p>○ごみの減量化及び資源の有効活用を目的に、市民と市の協働により集団回収が全市的な運動として促進することで、循環型社会の構築とまちづくりの推進を図る。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、参加人数、事業内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資源回収登録団体239団体（平成26年3月末現在） 活動内容調査による状況把握 ○リサイクルニュース発行、ホームページ、広報等による資源回収団体への情報提供（ニュース1月発行） ○資源リサイクル団体連絡協議会総会、役員会開催による情報交換、連携強化（総会：7月18日、41人41団体、役員会①7月②2月） ○リサイクル施設の視察研修（10月25日 14団体22人参加） 研修先 明円工業株式会社環境資源部苦小牧工場、沼ノ端クリーンセンター、リサイクルプラザ苦小牧、苦小牧市資源化センター ○リサイクルハウス設置助成による支援（5団体） ○資源回収団体奨励金制度による支援（前期分184団体） <p>【関係団体等】 町内会、老人クラブ、学校・PTA、同好会、各種団体等</p> <p>【反響等】 市民と市民団体と市の連携により、資源回収登録団体数・回収実績も向上しており、ごみの減量化及び資源の有効活用が図られ、循環型社会の構築、まちづくりの推進につながっている。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
11	苦小牧市エコストア 認定制度 (減量対策課)	<p>例年実施 (平成20年度から継続実施)</p> <p>○環境に配慮している店舗をエコストアに認定し、広く市民に情報提供することにより、市民と店舗と市が連携してごみの減量化やリサイクル活動に取り組み、循環型社会の構築に向け、環境にやさしいライフスタイルを確立することで、まちづくりの推進を図る。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】 ○エコストア認定店舗に対し、認定書及びプレートを交付、提示してもらうことで啓発を図る。 ○ホームページ等による市民への情報提供</p> <p>【参加人数、関係団体等】 (エコストア認定登録29店舗名) イオン北海道(株)苦小牧店 ホームワークKOYO マックスバリュ有珠川 ホクレンショップ沼ノ端店 スパー苦小牧春日店 マックスバリュ澄川町店 ホクレンショップ苦小牧店 ヘリテージキムラ コープさっぽろステイ店 コープさっぽろ桜木店 コープさっぽろパセオ川沿店 コープさっぽろ栄町店 大師堂佛壇店 (有)ななかまど マックスバリュ新花園店 マックスバリュ支笏湖通り店 手づくりとお菓子「自家焼」があがぁん (株)豊月フードD沼ノ端食彩館 (株)豊月フードDザ・プライス (株)豊月フードD双葉食彩館 (株)豊月フードD見山食彩館 (株)メガススポーツスポーツオーソリティー苦小牧店 エーコープトマコマイ店 ビッグハウス明德店 炭火・自家焙煎珈琲「えちおび屋」ビッグハウス光洋店 ビッグハウス明野店 コープさっぽろときわ店 フードD Vian</p> <p>【反響等】 市民と店舗と市の連携によるリサイクル意識の向上及び環境負荷への低減等が図られ、循環型社会の構築、まちづくりの推進につながっている。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
12	レジ袋削減に向けた 取り組み (減量対策課)	<p>例年実施 (平成20年度から継続実施)</p> <p>○レジ袋削減に関する自主協定を締結し、三者一体となってレジ袋削減に向けた取り組み(レジ袋無料配布中止、マイバッグ持参運動等)を行うことで、ごみの減量化、限りある資源の有効活用やCO₂発生抑制による環境負荷軽減・地球温暖化防止に向け、環境にやさしいライフスタイルを確立し、まちづくりの推進を図る。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、参加人数、事業内容等】</p> <p>○事業者に対するレジ袋削減率等活動内容調査による現況把握(平成24年度実績)</p> <p>レジ通過客数 14,614,394人 レジ袋販売者数 1,748,315人 レジ袋辞退率 88.0% レジ袋削減枚数 12,246,925枚(重量120t)</p> <p>○ノーレジ・マイバッグ持参運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等による市民へのレジ袋削減の呼びかけや各店舗の取組などの情報提供、啓発用のばり配布等活動支援 ・各種イベントでのレジ袋削減 ・マイバッグ持参運動PRキャンペーン実施 <p>【関係団体等】 (レジ袋削減に関する自主協定を締結)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧消費者協会 ・協定締結事業者(7事業者22店舗 平成26年3月現在) イオン北海道株式会社 生活協同組合コープさっぽろ 株式会社豊月 株式会社ホクレン商事 マックスバリュ北海道株式会社 株式会社メガスポーツ 株式会社ラルズ <p>【反響等】 市民と事業者と市の連携によりレジ袋有料化以降マイバッグ持参率も高い率で推移しており、ごみの減量・リサイクル推進及び環境負荷への低減等が図られ、循環型社会の構築、まちづくりの推進につながっている。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
13	「ゼロごみの日」の 取組(春・秋) (清掃事業課)	<p>例年実施 (昭和62年度から継続実施)</p> <p>○清潔で住みよい町づくりのため自主的に清掃を行い、環境美化と清掃意識の高揚を目的とし、昭和62年度より「まちをきれいにする日」として実施。春と秋の年に2回実施し、平成24年度より「ゼロごみの日」と名称を改め、継続している。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成25年 4月14日～ 5月13日 約19,770人 平成25年10月 1日～10月31日 約17,937人</p> <p>【参加人数、関係団体等】 町内会、自治会(春12,245人、秋12,625人参加) 事業所(春2,330人、秋1,196人参加) 学 校(春4,655人、秋3,851人参加) 子供・老人クラブ等その他の参加団体(春540人、秋265人参加)</p> <p>【反響等】 町ぐるみで清掃を行うことで、市民の環境美化意識が高まった。</p>
14	苫小牧市ステーション ンパトロール隊 (清掃事業課)	<p>例年実施 (平成25年度から継続実施)</p> <p>○平成25年7月から開始する家庭ごみの有料化及び分別品目の拡大に伴い創設し、不適正排出の防止を目的とする。適正なごみの排出方法の啓発や、排出状況の良くないごみステーションの調査を行う。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成25年7月1日～継続実施中</p> <p>【参加人数、関係団体等】 80町内会・自治会 町内会・自治会から選任された隊員人数、延べ756人</p> <p>【反響等】 適正なごみの排出について、市民の意識が高まった。</p>
15	苫小牧市環境基本計画 推進会議による実 施事業 (環境保全課)	<p>例年実施 (平成16年度から継続実施)</p> <p>○環境基本計画を推進するために、市民、事業者、行政の三者で構成し、事業の企画及び実施に向けた実践的な行動を行う。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○せせらぎスクール(平成25年7月30日 参加予定38人) 川に生息する水生生物を調査し、水環境との関わりを考える。 *降雨の影響により開催中止 ○苫小牧の自然を守り隊!!(平成25年8月6日 35人) 枝払いの作業を体験し、森林を育てる大切さを学ぶとともに、ほたる鑑賞や自然環境、野生鳥獣について自然保護の大切さを学ぶ。 ○エコ推進企業見学ツアー(平成25年10月30日 20人) 環境負担軽減に取り組む市内2ヶ所の事業所を見学し、環境保線への関心をもってもらう。 ○エコオフィス宣言事務所 ECOアンケート(調査期間 平成25年12月18日～平成26年1月15日) エコオフィス宣言事業所に現状のエコの取り組み等を調査、模範となる優良事例や調査結果を市ホームページ等で公表、他事業所への拡大、推進を図る。 ○エコ・クッキング教室(平成26年2月5日 40人) 保温調理など省エネにつながる料理方法を実践することにより、環境にやさしい取り組みの一環を学ぶ。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
16	トマコマイクリーン アップ・サポーター 制度 (緑地公園課)	<p>例年実施 (平成14年度から継続実施)</p> <p>○住民等のボランティアにより、道路や公園などの公共施設の清掃活動を行うことで、清潔で美しい街を作る。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】 平成25年度 登録団体数 (32団体・3個人) 登録者数 1,748人 (うちパークゴルフ場維持管理を中心とした団体 13団体)</p> <p>【関係団体等】 同上</p> <p>【反響等】 地域内の道路や公園がきれいに保たれている。また、パークゴルフ場は、芝刈り等の作業をして頂いていることから、多くの利用者に喜ばれている。</p>
17	錦大沼公園ハナショ ウブ園の維持管理 (緑地公園課)	<p>例年実施 (平成22年度から継続実施)</p> <p>○錦大沼公園内のハナショウブ園において、ハナショウブの会の会員と市職員と共に、草取りや株分け、茎切などの作業を行い、経費削減と共にハナショウブ園の持続的な維持管理を行うことを目的としている。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】 各年 1回目 (5月下旬～ 6月上旬の1日) 約10人 (他 市職員約20人) 2回目 (6月下旬～ 7月下旬の1日) 約10人 (他 市職員約20人) 3回目 (9月下旬～10月下旬の1日) 約10人 (他 市職員約20人)</p> <p>【関係団体等】 苫小牧ハナショウブの会 ・ 苫小牧ヤクルト販売株 ・ (有)アートスタジオNON ・ マルゼン食品(株) ・ (株)苫小牧中野自動車学校 ・ 公益社団法人苫小牧地方法人会 ・ 一般社団法人苫小牧観光協会 ・ 北光印刷(株) ・ (株)華紋</p> <p>【反響等】 きれいなハナショウブ園の維持と除草業務費の削減。 また、市民団体との共同作業によるPR効果。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
18	苦小牧市成人式の企画立案 (生涯学習課)	<p>例年実施</p> <p>○成人式の式典の企画立案や成人式当日の運営に参画することで、主体的に行動する苦小牧市民としての自覚を深め、今後の積極的な生涯学習活動への参加を促す。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】</p> <p>○成人式実行委員会</p> <p>第1回 平成25年 9月11日 第6回 平成25年11月20日 第2回 平成25年 9月25日 第7回 平成25年12月 4日 第3回 平成25年10月 9日 第8回 平成25年12月18日 第4回 平成25年10月23日 第9回 平成26年 1月 8日 第5回 平成25年11月 6日</p> <p>○リハーサル ○式典 平成26年 1月11日 平成26年1月12日</p> <p>【参加人数】 8人(延べ 69人)</p> <p>【反響等】 活動を通じて、これからの地域を担う主体としての自覚を深めるとともに、地域で活動する団体や市に対する理解・信頼を深めた。 ※ 平成26年苦小牧市成人式 出席者 1,213人(対象者 1,622人) 出席率 74.80%</p>
19	障がい者IT学習支援事業 (生涯学習課)	<p>例年実施 (平成19年度から継続実施)</p> <p>○行政とボランティア団体がパートナーシップ協定を結び、まちづくりに関する地域の目標や課題を共有し、相互の役割分担を明確にしなが、対等の関係で協力し合い、本市の生涯学習を推進する。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】</p> <p>○肢体障がい者パソコン教室 平成25年5月24日～平成26年2月14日 第2・4金曜日(計15回) 受講83人 ボランティア116人</p> <p>○視覚障がい者パソコン教室 平成25年5月15日～平成26年2月5日 第1・3水曜日(計15回) 受講90人 ボランティア117人</p> <p>【関係団体等】 障がい者パソコンボランティア友の会 身体障害者福祉連合会(視覚障害者協会・肢体障害者協会) パソコン教室受講者</p> <p>【反響等】 協働の過程を通じて、ボランティア団体の構成員である市民が地域の主体としての自覚を深め、市民相互又は市民及び市における理解と信頼が深まることができた。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
20	読み聞かせ・文庫応援フェスタ2013 (中央図書館)	単年度(新規)実施 ○苦小牧読み聞かせ文庫連絡会創立20周年を記念し、中央図書館と共催で、苦小牧市内の読み聞かせ活動状況を市民に知ってもらうとともに、読み聞かせ会、展示、講演会を実施し読書推進活動と図書館利用の推進を図る。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成25年9月14日・15日 【参加人数、関係団体等】 イベント参加者 2日間(930人) ボランティア 2日間(33団体) ・苦小牧読み聞かせ文庫連絡会 ・図書館ボランティア読み聞かせグループ等 【反響等】 図書館と市内読み聞かせグループ等が協力して実施することで、市内の読み聞かせ活動の実態の把握と読み聞かせ活動及び図書館運営について一緒に考える機会になるとともに、グループ間の親交を深める場にもなった。多くの市民が訪れ好評を得た。
21	本のばくりっこ市 (中央図書館)	例年実施 (平成22年度から継続実施) ○図書館と図書館ボランティアグループ等が協力し、図書館に寄せられた本と市民の持ち寄る本を交換し本の再利用と図書館の利用促進を図る。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成25年7月29日 【参加人数、関係団体等】 ボランティア(20人) 参加者(128人) ・図書館ボランティアグループ及び苦小牧NPO法人連絡会 【反響等】 図書館とボランティアグループが協力して実施することで、図書館運営について一緒に考える場になるとともにボランティア間の親交を深める場にもなっている。市民からは好評を得ている。
22	カルチャーナイト「朗読とギターの夕べ」 (中央図書館)	例年実施 (平成23年度から継続実施) ○閉館後の図書館を会場に、市民による朗読とギター演奏を楽しむ事業で、普段図書館に来ない市民にも足を運んでもらい、図書館の利用促進を図る。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成25年7月26日 【参加人数、関係団体等】 高校演劇部(12人) 参加者(80人) ・苦小牧東高校演劇部 【反響等】 高校生による詩の朗読は市民からも好評を得、図書館利用の少ない高校生との連携が図られた。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等												
23	青空こどもとしゃかん (中央図書館)	<p>例年実施 (昭和62年ころから継続実施)</p> <p>○図書館と図書館の読み聞かせボランティアグループが協力し、通常館内で行われる読み聞かせを屋外で楽しんでもらう取り組み。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成25年7月29日</p> <p>【参加人数、関係団体等】 ボランティア (15人) 参加者 (70人) ・図書館読み聞かせボランティアグループ</p> <p>【反響等】 図書館と図書館ボランティア読み聞かせグループが協力して実施することで、読み聞かせ活動及び図書館運営について一緒に考える機会になり、市民からは好評を得て長く継続している。</p>												
24	定例読み聞かせ会、おはなし会 (中央図書館)	<p>例年実施 (平成元年から継続実施)</p> <p>○図書館ボランティア読み聞かせグループ等の協力を得て、子どもたちの読書活動の推進を図る。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成25年4月～平成26年3月まで</p> <p>【参加人数、関係団体等】 ボランティア (227人) 参加者 (1,438人) ・図書館ボランティア読み聞かせグループ等</p> <p>【反響等】 図書館と図書館ボランティア読み聞かせグループ等が協力して実施することで、読み聞かせ活動及び図書館運営について一緒に考える機会になり、市民からは好評を得て継続している。</p>												
25	リーダー養成事業 (青少年課)	<p>例年実施</p> <p>○様々な体験活動から積極的に社会参加するたくましい青少年を育成する目的でリーダー養成事業を行っているが、本事業はNPO法人苫小牧市子ども会育成連絡協議会の後援事業でもあり苫子連主催の各種事業もリーダー養成認定事業であることから、各種事業に参加することでポイントが得られ、リーダー認定を行う制度を協働で行っている。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】</p> <table border="0"> <tr> <td>子ども会スポーツ交流会</td> <td>平成25年 9月28日</td> <td>約 30人</td> </tr> <tr> <td>〃 交流会</td> <td>平成25年 6月29～30日</td> <td>約 50人</td> </tr> <tr> <td>〃 カルタ大会</td> <td>平成25年11月17日</td> <td>約 30人</td> </tr> <tr> <td>子ども芸術祭</td> <td>平成26年 2月15～16日</td> <td>約200人</td> </tr> </table> <p>【関係団体等】 NPO法人苫小牧市子ども会育成連絡協議会</p> <p>【反響等】 子ども達の育成について、市が単独で事業を実施するより協働して計画及び実施することで子ども達に多くの学習機会の提供をすることができ、また、多様な意見を聴取することで更なる事業の発展に繋がっていくと考えている。</p>	子ども会スポーツ交流会	平成25年 9月28日	約 30人	〃 交流会	平成25年 6月29～30日	約 50人	〃 カルタ大会	平成25年11月17日	約 30人	子ども芸術祭	平成26年 2月15～16日	約200人
子ども会スポーツ交流会	平成25年 9月28日	約 30人													
〃 交流会	平成25年 6月29～30日	約 50人													
〃 カルタ大会	平成25年11月17日	約 30人													
子ども芸術祭	平成26年 2月15～16日	約200人													

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
26	地域合同巡回指導 (青少年課)	<p>例年実施 (平成15年度から継続実施)</p> <p>○青少年の非行防止や不審者などから子どもを守るため、町内会(地域)と行政が協力体制を構築することを目的とする。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】 平成25年7月29日 10人 平成25年7月30日 11人 平成25年7月31日 12人 累計33人</p> <p>【関係団体等】 苫小牧市町内会連合会 町内会で青少年委員の委嘱を受けた者 参加実績 33人(32町内会)</p> <p>【反響等】 町内会青少年委員と少年指導センター合同による地域の危険箇所や遊技場の夜間巡回を行い、地域から青少年の現状の情報提供があり、またセンターからは日々の巡回指導の状況を話すなど情報交換を行い、青少年の行動把握や早期の非行防止に効果をあげている。 参加者からは地域全体で青少年の健全育成・非行防止に取り組まなければならないとの意見があった。</p>
27	苫小牧市美術博物館 ボランティア運営登録事業 (美術博物館)	<p>例年実施 (平成25年6月から継続実施)</p> <p>○美術や博物事業に関する見識や熱意を有する方々の協力を得て、市民と協働した美術博物館活動を組織的に推進し、館事業の円滑な運営を図るため、ボランティア登録制度を導入し、活動を行うために必要な支援を行う。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】 ○各企画展の受付・案内・監視活動 平成25年6月27日～平成26年3月30日 登録者37人で530回の活動実績</p> <p>○ボランティアのための研修会・展示解説会等 8回開催で延べ250名参加</p> <p>【反響等】 各展覧会において、受付・案内・監視活動をしてもらえるため、入場者数カウント・チラシ等の配布や作品資料の保全のための職員負担が軽減された。 各展覧会の前にボランティアのための研修会として展示解説が行われ、参加者には、より深く展覧会の内容が理解できると好評を得ている。</p>